

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 千葉県 】

1 実践テーマ	【 I II V 】
2 実施対象者	学校名 印西市立印旛中学校 対象学年 1 学年 人数 116人
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名 (保健体育、総合) ② 行事名 () ③ その他 () (2) 地域における活動 ① イベント名 () ② その他 ()
4 目 標 (ねらい)	仲間とスポーツに親しみ、楽しさや感動を分かち合う生徒の育成をはかるとともに、ボランティアの精神と心温まるおもてなしの気持ちを育てる。
5 取組内容	【オリパラ競技に親しもう！】 本校の学区内にある順天堂大学スポーツ健康科学部と連携し、オリパラ競技をより専門性の高い方々から学ぶことにより、競技について深く理解するとともに、生涯に渡ってスポーツに親しむ気持ちを育てることを目的とし、本取組を実施した。 本取組は、10月と11月にそれぞれ1回ずつ行い、1年生を対象に実施した。1年生4学級を2学級ずつに分け、2時間の授業展開とした。 オリンピック競技の一つであるバスケットボールを行い、ビデオ鑑賞と技術指導を受けた。まず、バスケットボールにおけるオリンピックの歴史についてビデオを鑑賞し、オリンピックの遍歴及びバスケットボールの注目度について理解を深めた。生徒は外国人選手の技術の高さに驚き、「東京五輪でも見てみたい」という感想を聞くことができた。次に、順天堂大学の先生及び学生からシュートやドリブルの技術指導を受け、最後にゲームを行って汗を流した。  

	 【一人一鉢運動】 一人一鉢運動の中で草花を育てる体験をとおして、おもてなしの意味を理解させることを目的とし、本取組を実施した。 生徒一人ひとりにプランターと植物を配布し、各々が気持ちを込めて植えた。その後、各クラスで水やり当番を決めて、約一ヶ月管理した。そして、近隣の商業施設や病院、小学校に自ら育てた植物を配って美しい街作りに貢献し、住民の方々にささやかなオアシスの場を提供することができた。 一部学校にもプランターを残し、継続して管理を行うとともに、配布先のプランターについても定期的に状況を確認し、植物を育てる意識を高めさせた。  
6 主な成果	オリンピック・パラリンピック教育を推進することで、地域人材の活用や地域貢献活動を考えた授業展開ができた。
7 実践において工夫した点 (事業の特色)	【オリンピック競技に親しもう！】 順天堂大学スポーツ健康科学部と連携し、地域人材を活用するとともに、生徒と同世代の大学生とふれ合うなど本校の教育目標である「豊かな心の育成」につなげる要素を取り入れた。 【一人一鉢運動】 生徒自らが育てた植物を地域に還元し、住民の方々から感謝の言葉をいただくことにより、生徒一人ひとりが達成感を得られるようにした。 ※新聞取材をお願いし、本取組の地域への周知及び理解を求め、将来共に活動できるような環境づくりを整えた。
8 主な課題等	(1) 地域人材を活用すると、日程調整等で多くの時間を費やしてしまうことになり、大きな負担となった。 (2) 一人一鉢運動で、公共施設等から受け取りを断られることになってしまい、本取組について理解を得るためには時間をかけて交渉する必要があった。
9 来年度以降の実施予定	生徒だけでなく教職員も参加するパラ競技を中心とした取組を実施する予定。